



(1) 概要

- ジャラゾン難民キャンプは、**第一次中東戦争後の1949年に設置**されたパレスチナ難民キャンプ。ラマツラ北方7km地点に位置。当初4~5千人だった人口が、**現在約1万7千人に増加**（2023年UNRWA登録ベース。注：実際の居住人口は8~9千人と推計）。
- 同キャンプの**南東部には入植地ベイト・エルが接して**おり、入植地の拡大により、キャンプ住民とイスラエル治安部隊との衝突が度々発生。
- キャンプ内にはUNRWA学校3校と保健センター1施設が設置。



(2) 我が国による同キャンプに関する支援

- キャンプの**住民参加と社会包摂**を重視した**生活改善計画の策定・実施を支援**を通じ、**住民のコミュニティ運営・管理能力**を高め、**パレスチナの国づくりを現場から支える**ボトムアップ型の取組事例。
- 2016年から、JICAがパレスチナ解放機構・難民問題局（PLO-DoRA）と連携し、**キャンプにおける生活改善**に向けた**技術協力**を実施中。日本人専門家の派遣等を通じ、キャンプ改善計画の策定・実施を支援。
- また、**無償資金協力**により、上記計画に沿った**小規模インフラ整備**（キャンプ内公共施設、道路、医療施設、電力設備等の整備・改修）や**機材供与**（廃棄物回収関連機材等）を実施。



キャンプ全体写真（UNRWA）



キャンプ改善計画について議論する住民



研修の様子



障害児と通常発達児のケア施設（視察先）